

## 編集後記

本号（大学院法学研究科論文集第五十九号）では、法律学・政治学の各領域に関する三本の論考を収録した。いずれの論考も、本誌に掲載するに値する高い学術的価値を備えたものである。

本号も、前号に引き続き、掲載された論考の数が少なかった。本誌は、本塾大学院法学研究科に在籍する学生であれば、修士課程に属する者であっても、投稿資格を有する。また、本誌は、投稿する論考の形式について、制限を設けていない。そのため、論説の形式をとるものだけでなく、研究ノート、紹介、資料といった形式をとるものであっても、投稿することができる。本塾大学院法学研究科に在籍する学生が、研究の成果を公開するため、本誌を積極的に活用することを期待している。

本号の編集にあたっては、慶應義塾大学出版会の堀井健司氏のお世話になった。記して感謝の意を表す。

令和元年五月

『大学院法学研究科論文集』担当編集委員 法学部教授 水津 太郎